

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る「重要情報シート」（個別商品編）

2024/10/21現在

1. 商品等の内容（当金庫は、組成会社等の委託を受け、お客様に商品の販売の勧誘を行っています）

金融商品の名称・種類	ニッセイ／パトナム・インカムオープン・証券投資信託
組成会社（運用会社）	ニッセイアセットマネジメント株式会社
販売委託元	ニッセイアセットマネジメント株式会社
金融商品の目的・機能	主に米ドル建ての米国国債、モーゲージ証券、社債、ハイイールド債および外国債を投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	主に米ドル建ての米国国債、モーゲージ証券、社債、ハイイールド債および外国債を投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行うことから、中長期での資産形成を目的とする方を想定しています。 米ドル建ての米国国債、モーゲージ証券、社債、ハイイールド債および外国債を主要投資対象とすることから、一定程度の収益を求め、ある程度の元本割れリスクを許容する方を想定しています。
パッケージ化の有無	パッケージ化商品ではありません。
クーリング・オフの有無	クーリング・オフ（契約日から一定期間、解除できる仕組み）の適用はありません。

- （質問）
- ① この商品は、どのような観点から、私にふさわしいと考えていますか。
 - ② 外債（外貨建て債券）とは、具体的にどのようなものですか。
 - ③ モーゲージ証券とはどのようなものですか。

2. リスクと運用実績（本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

損失が生じるリスクの内容	ファンドは、主に外国の債券を投資対象としますので、金利変動等による組入債券の価格の下落、組入債券の発行体の倒産または財務状況の悪化等の影響により、ファンドの基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、これらに加え、為替の変動により損失を被ることがあります。 主なリスクは、以下の通りです（ただし、以下に限定されるものではありません）。 債券投資による金利変動リスク・信用リスク 期限前償還リスク/ 為替変動リスク/流動性リスク
過去1年間の収益率	16.4% （2024年4月末現在）
過去5年間の収益率	平均5.3% 最低-3.5%（2021年2月）最高16.4%（2024年4月） （2019年5月～2024年4月の各月末における直近1年間の数字）

※ 損失リスクの内容の詳細は、交付目論見書の「投資リスク」、運用実績の詳細は交付目論見書の「運用実績」に記載しています。

- （質問）
- ④ ファンドとしての平均利回りと投資家への分配金利回りは異なりますか。
 - ⑤ リスクとしては、ドル安など為替リスクを考えておけばよいですか。

3. 費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生します）

（税込）

	窓口購入	インターネット購入
購入時に支払う費用 （販売手数料など）	1千万円未満：2.75% 1千万円以上5億円未満：1.65% 5億円以上：1.10%	1千万円未満：1.925% 1千万円以上5億円未満：1.155% 5億円以上：0.77%
継続的に支払う費用 （信託報酬など）	運用管理費用(信託報酬)は毎日、ファンドの純資産総額に年率1.65%(税抜1.5%)をかけた額とし、ファンドからご負担いただきます。また、監査費用は毎日、ファンドの純資産総額に年率0.011%(税抜0.01%)をかけた額を上限とし、ファンドからご負担いただきます。 その他、組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用および借入金の利息等は随時、ファンドからご負担いただきますが、これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を記載することはできません。	
運用成果に応じた費用 （成功報酬など）	ありません。	

※上記以外に生ずる費用を含めて詳細は、交付目論見書の「手続・手数料等」に記載しています。

- （質問） ⑥ 債券型は、株式型よりも購入手数料は低くなりますか。
⑦ 「長く保有していると、購入手数料負担が小さくなる」とは、どのようなことですか。

4. 換金・解約の条件（本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります）

償還期限	このファンドの償還期限はありません。ただし、繰上償還の場合があります。
解約時手数料等	このファンドに解約手数料はありません。また、信託財産留保額もありません。
解約の制限事項	証券取引所の取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、換金の申込みの受け付けを中止することがあります。 なお、申込日がニューヨーク証券取引所またはニューヨークの銀行の休業日と同日の場合は、換金の申込みの受け付けを行いません。

※ 詳細は、交付目論見書の「手続・手数料等」に記載しています。

- （質問） ⑧ 償還日には、当初の投資元本が確保されますか。

5. 当金庫の利益とお客様の利益が反する可能性

手数料	当社がお客さまにこのファンドを販売した場合、当社は、お客さまが支払う費用(運用管理費用(信託報酬))のうち、組成会社から年率0.77%(税抜0.7%)の手数料を上限として、いただきます。
-----	---

※ 利益相反の内容とその対処方針については、ホームページ「顧客本位の業務運営に関する原則」の「組方針」をご参照ください。

（URL） <https://www.numashin.co.jp/policy/files/fiduciaryduty.pdf>

- （質問） ⑨ あなた方のお奨めが、この商品と考えればよいですか。

6. 租税の概要（NISA、iDeCoの対象か否かもご確認ください）

租税の概要	分配時における所得税および地方税は、配当所得として普通分配金に対して20.315%課税されます。 換金(解約)時および償還時における所得税および地方税は、譲渡所得として換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)に対して20.315%課税されます。 なお、法人の場合は上記とは異なります。 新NISA（成長投資枠）でご利用できます。
-------	--

※ 詳細は、交付目論見書の「手続・手数料等」に記載しています。

7. その他参考情報（契約にあたっては、当金庫Webサイトに掲載された次の書面をよくご覧ください）

- ・ 販売会社（当金庫）が作成した契約締結前補完書面【目論見書補完書面】
(URL①) <https://www.numashin.co.jp/kojin/unyo/files/mokuromisyo.pdf>

※ PDF形式で掲載しています。

①



- ・ 組成会社が作成した【目論見書】

(URL②) <http://www.nam.co.jp/fundinfo/dcnpio/main.html>

※ リンク先は、当金庫が運営するホームページではありません。

当金庫はリンク先の表記等について保証するものではなく、一切の責任を負いません。

②



契約締結に当たっての注意事項等をまとめた【契約締結前交付書面】、金融商品の内容等を記した【目論見書】については、ご希望があれば、紙でお渡しします。



商号等/沼津信用金庫 登録金融機関 東海財務局長(登金)第59号

<質問回答例>

ニッセイ／パトナム・インカムオープン

	<質問>	<回答例>
①	この商品は、どのような観点から、私にふさわしいと考えていますか。	お客様の資産構成を補完するクラスの商品であること、また投資ご経験からも十分ご理解いただける商品です。
②	外債（外貨建て債券）とは、具体的にどのようなものですか。	米国であれば、米国国債、米国の企業が発行する社債などが一例です。特に企業は、株式の発行と社債の発行・銀行借入れによって、資金調達を行います。
③	モーゲージ証券とはどのようなものですか。	この商品においては、米国の連邦住宅抵当公庫(ファニーメイ)および連邦政府抵当公庫(ジニーメイ)の発行する証券を指しています。
④	ファンドとしての平均利回りと投資家への分配金利回りは異なりますか。	異なります。もしファンドとして受取る利回りが3%なのに、投資家への分配金利回りが8%であれば、その差額分は別の原資に依存していることとなります。
⑤	リスクとしては、ドル安など為替リスクを考えておけばよいですか。	もうひとつの要素として、金利が上昇していくと投資対象の債券価格が下落するリスクも重要です。またこれら以外には、投資対象銘柄が債務不履行となる信用リスクもあるものとお考えください。
⑥	債券型は、株式型よりも購入手数料は低くなりますか。	私どもの商品ラインナップにおいても、そのような差違いが認められることは事実ですが、常にあてはまることとは言えません。あくまでも、運用会社の判断で手数料上限額は設定されます。
⑦	「長く保有していると、購入手数料負担が小さくなる」とは、どのようなことですか。	例えば、手数料3%だとして、保有期間1年であれば負担率年3%ですが、3年間保有していれば、負担率は年換算では1%になる、という考え方です。
⑧	償還日には、当初の投資元本が確保されますか。	その償還日時点の基準価額で計算された金額が、償還されることとなります。したがって、最終的に投資元本割れとなるおそれはあります。
⑨	あなた方のお奨めが、この商品と考えればよいですか。	お客様ごとに、資産の状況やライフプランの考え方は異なりますから、一律に同じ商品を推奨することはありませんので、ご安心ください。